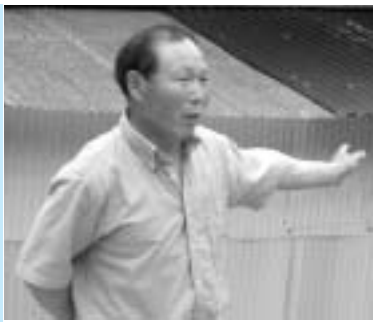
◎山崩れ・崖崩れ

・崖の途中から水が噴き出したり、湧水が濁ってきたら崖崩れの前兆です。また樹木の根が切れる音がすることもあります。
・小さな崖崩れは、大規模な崖崩れの前兆です。
・強い雨が止んだ後もしばらくは崖崩れなどが起こるおそれがあります。

★生まれて初めての体験



語る人・泉町在住
寺川直繁さん

幸いにして、この位の被害で澄んだのが不思議な位です。あの日の雨は、まるでヤリが天から降ってくる勢いでした。そのヤリも途切れる事を知りません。雨にすきまがほとんどないのは生まれて初めて見ました。

家から、だいたい300メートル山上は、水が自然と沸いている場所があります。そんな地盤が柔らかい所に集中豪雨だったので崩れてしまったのだと思います。

私は悲しい経験もしています。

昭和59年6月29日球磨郡五木村を襲った集中豪雨で父と弟が崖崩れの犠牲になっています。

その時、私も1時間前にはその家にいたんです。すごいショックと悲しみでした。

今回は息子の家に避難していましたので、『恐怖』を感じる事はありませんでした。

泉町久連子崖崩れ現場

寺川直繁氏宅

★ユンボ3台 人手が10人 掃除に4週間

語る人・泉町在住
寺川シヅエさん

息子の家から帰ってきたときは、我が家の荒れはてた様子に愕然とし、足が震えました。みなさんのおかげで、やっと住めるようになったとき、感謝の気持ちでいっぱいでした。

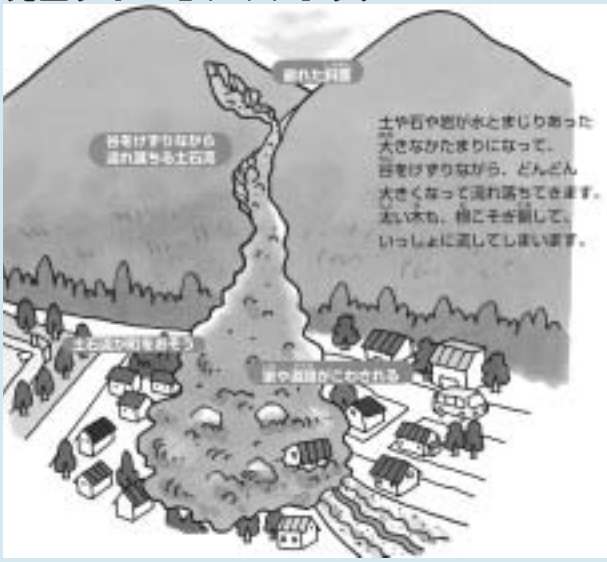
この久連子は20世帯人口40人位が暮らしていますが、一人暮らし世帯は3世帯あります。地域の連帯を今まで以上に親密にして、早めの情報、早めの避難を取り合って行きたいと強く思いました。

●台風14号の爪跡

平成17年9月5日～6日にかけて、大型で強い台風14号が、九州付近を北上した時の通過速度は時速15キロ～20キロとゆっくりだったことから、泉町では長時間にわたって猛烈な豪雨に見舞われました。縦木（もみぎ）、久連子（くれこ）、朴（ほう）の木の3地区は、ライフラインとなる国道、県道、市道の一部が崩落したり、崩れ落ちた土砂が道をふさぐなどして通行できなくなり、電気や電話も使用できず「陸の孤島」となりました。

◎土石流

・集中豪雨があると、ふだん水が流れていない谷、小さな沢などで一瞬にして土石流が発生することがあります。
・急に川の水流が少なくなったり、山鳴り地鳴りは、土石流の前兆です。



◎高潮・洪水

《避難の際には!!》

- 冠水した道路での車の運転は危険です。
- 「自分のところは大丈夫」という考えがもっとも危険です。市や警察、消防などの避難勧告や指示には従いましょう。
- 避難する前には、火の元、ガスの元栓を確かめ、戸締まりをしておきましょう。

★満月の満潮、そして大潮

80年近く海岸で暮らしています。

昭和40年の大洪水で、鏡川の堤防も高くなりました。しかし、平成11年の台風は、異常気象の現れだったように思います。この高い堤防を海水が越してしまったんですからね。

そこで、向こうに見えてる樋門ができました。この樋門は、海からの大量の海水を防ぎます。ここ数年2～3回大雨の時に閉まっています。

私の経験から①満月の満潮、そして大潮は要注意。②新築の家に避難する。③防災無線を聞く。④それでも、危険を感じてきたら避難所に行く。これは、私の教訓の順番です。それぞれの地域の特色にあった避難が必要だと思います。

語る人・鏡町在住
宮崎ヤヨイさん

★堤防の上に、なんと舟が!?

平成11年9月24日の台風は、この地区から死亡者1名が出る大きな台風でした。「助けてくれ、助けてくれ」と、叫ぶ声は聞こえましたが、激流とヘドロの海水で身動きがとれず、柱にしがみついているのが、精一杯でした。

台風が去った後、周りの風景は、すっかり変わっていました。堤防の上に舟が並んでいるんですよ。考えられますか?堤防より高く建てている我が家でも玄関のここまで海水がきました。ヘドロは隙間（すきま）という隙間に全て入っていました。針の穴まで入っていると言ってもおかしくありません。今回の事を教訓にして、早めの情報、早めの避難をモットーにしたいと思っています。また、独居老人の多い地域ですので、地域との連携をとって対処したいと思っています。

語る人・鏡町在住
徳田正弘さん

避難するときの注意点

動 きやすく安全な服装で

ヘルメットや防災ずきんで頭を保護し、靴はひもでしめられる運動靴を。裸足・長靴は厳禁です。

子 どもや高齢者に配慮する

高齢者や病人などは背負い、子どもには浮き袋を着けさせて、安全を確保しましょう。

単 独行動はしない

避難するときは2人以上で、はぐれないように、ロープで結んで避難しましょう。

深 さに注意

歩行可能な水深は男性で約70㎝、女性で約50㎝。水が腰まである場合は、高所で救援を待ちましょう。

足 元に注意を

水面下には、マンホールや側溝などの危険な場所がある。長い棒をつえ代わりにして、確認しながら歩きましょう。

八代市管内 第1避難場所

【本庁管内】
市役所／厚生会館／八代公民館／総合体育館／サンライフ八代／植柳公民館／農事研修センター／大島石灰事務所（大島公民館）／松高公民館／八千把公民館／高田公民館／金剛公民館／郡築公民館／宮地公民館／南部市民センター（日奈久出張所）／農村婦人の家／二見公民館／龍峯農業研修所（龍峯出張所）

【坂本支所管内】
西部多目的集会施設／深水生活改善センター／さかもと青少年センター／鮎帰社会教育センター／坂本公民館／中津道社会教育センター／田上社会教育センター／久多良木多目的集会施設

【千丁支所管内】
千丁支所／千丁公民館

【鏡支所管内】
鏡支所／鏡保健センター

【東陽支所管内】
東陽定住センター／東陽地域福祉保健センター／東陽公民館及びスポーツセンター／種山小学校内の木場分校／市立河俣小学校

【泉支所管内】
泉第一小学校体育館／泉中学校体育館／泉第二小学校／泉中学校体育館／板木・保口地区集会所／久連子古代の里／泉第七小学校／五家荘自然塾／泉第八小学校

◎住宅地域での注意

・近年は住宅造成などで新たな災害が起こるケースが多くなっています。急傾斜地や危険地帯にある住宅では早めの避難が必要です。

・低い土地では浸水に警戒してください。また堤防より低い土地では浸水が始まると急激に水位が上昇します。

流出前の豊国旅館

写真提供者：遠山宇宙さん

流出後の豊国旅館

●八代地方に豪雨禍

昭和40年7月2日～3日未明にかけて球磨・人吉・八代地方は激しい雨に見舞われ、特に上流の五家荘で1時間58ミリという記録的な雨量となりました。

この雨の影響で球磨川が氾濫し、午後2時ごろから人吉市内は軒先まで浸水、屋根の上で救いを求める人があいつぎました。また、支流の川辺川も氾濫し、五木村では225世帯が中学校などに避難しました。

八代市内でも、水無川の氾濫によって、約2000戸が浸水し、球磨川河畔では旅館など4戸が堤防の崩壊によって流出、県警機動隊一個小隊が出動する事態となりました。泉町でもがけ崩れで3人が死亡するなど、豪雨による被害は、すさまじいものでした。

★穏やかな球磨川が「暴れ川」に・・・

語る人・萩原町在住
出水　晃さん

20歳頃でしたか、現在の新萩原橋より少し下流に位置していた萩原鉄橋の右岸たもとにあった豊国旅館の土台石垣下で潜っていたとき、石垣の水中部分が穴だらけになっていて、不安を抱きました。

昭和40年7月3日、この不安が悪いことに的中してしまったのです。集中豪雨で球磨川の水位がそれまでになく急激に上がり、豊国旅館など4軒が流失、渡町の民家は屋根まで濁流が渦巻き、約40戸が孤立し、自衛隊のヘリコプターが救出活動を行うなど、あのやさしい穏やかな球磨川が「暴れ川」に変貌したのです。この日は、1秒間に七千八百トンの水が流れたと国土交通省の資料にあります。

同時に、水無川の氾濫による物的損害も発生しました。その後、国土交通省により、球磨川の改修が進み、萩原地区の堤防は高くなり川幅は3倍ほどにも広がりました。

異常気象が多い昨今、どんな災害が起こるか予断を許しませんが、これからも球磨川を見守り続けてゆくつもりです。

球磨川の主な洪水

869（貞観11）
球磨川の大洪水で家が流される。

1539（天文8）8月
大洪水　家が流される。

1550（天文19）
大洪水　家が流される。

1621（元和7）
大洪水　家が流される。

1627（寛永4）8月
大洪水　家が流される。

1650（慶安3）9月
大洪水　360人、家422

写真提供：熊本日日新聞社

◎日頃からの準備

・あらかじめ避難場所を確認し、いつでも避難できるよう態勢を整えておきましょう。
・非常持ち出し品を準備しておきましょう。
・気象情報や防災情報にはくれぐれも注意しましょう。
停電に備えて懐中電灯や携帯ラジオの準備をしましょう。

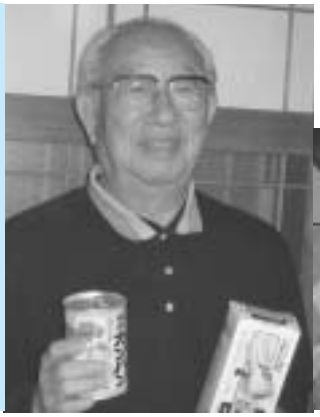
★備えあれば憂いなし

ガラス・瓦が手裏剣のごとく飛んできた！

平成11年9月23～24日、台風18号以来、平地に住んでいる者でも、ある程度の災害対策準備は必要ではないでしょうか。代陽、麦島、八千把、郡築、龍峯、金剛あたりが、大きな被害を受けたと聞きました。妻が背負っているリュックサックには、水、カンパン、懐中電灯、缶詰、薬、ラジオ等を入れています。停電や断水、電柱の倒壊、窓ガラスの破損など、次から次に起こる予想もしない事態に戸惑うばかりです。高齢者世帯が多くなっている現在、自分の命は自分で守る心構えと、地域の連携を密にしていきたいものです。

●微笑ましい一言

「ばあさん、防災ずきんを作ってくれんね。孫に送りたかね？」



語る人・田中町在住
中村梅勝・美鶴さん

2戸、牛馬600頭流される。
1653（承応2）8月 大洪水　12、600トンの米に被害、人や家畜が多く溺れ死亡。
1677（延宝5）6月 萩原堤防決壊、八代と球磨で432人死亡。
1722（享保7）5月 大洪水
1732（享保17）9月 球磨郡大洪水
1755（宝暦5）6月 大洪水　萩原堤防決壊、死者506人、田畑22、000ヘクタールに被害
1772（安永1）7月 大洪水
1816（文化13）6月 大洪水　堤防決壊、田畑800ヘクタールに被害
1830（天保1）7月 大洪水
1841（天保12）4月 大洪水
1885（明治18）6月 堤防決壊　家10戸水につかる。
1888（明治21）6月 洪水
1917（大正6）8月 多くの家が水につかる。
1923（大正12）7月 大きな被害を出す。
1929（昭和4）7月 244戸の家が床上まで水につかる。
1941（昭和16）7月 水につかった家2560戸、水につかった水田1500ヘクタール
1953（昭和28）7月 水無川、球磨川の水があふれ出し400戸の家が水につかる。
1963（昭和38）8月 水無川、球磨川の水があふれ出し、死者7人、水につかった家2000戸
1965（昭和40）7月 球磨川大洪水、死者及び行方不明になった人6名、萩原の豊国旅館が流される。
1972（昭和47）7月 水につかった家、約11、000戸、水につかった田や畑約2900ヘクタール
1982（昭和57）7月 大雨のため床上、床下まで水につかった家3700戸

資料提供：ふるさと八代・球磨川
八代市教育委員会教育研究所

○球磨川の浸水想定区域が公表されています。自宅付近の状況を確認しておきましょう。
国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所ホームページ
http://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/bousai/shinsui/index.html
○八代市では、この浸水想定区域に基いて、避難地・避難路情報を含めたハザードマップの整備に向けて、平成18年度から調査を行う予定です。

問合せ　八代地域振興局土木部　33-4184　防災危機管理課　33-4112